

# 令和6年度 音楽科 学習の手引き

## 1 音楽科で身に付けたい力

- 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする力、生涯にわたって音楽に親しんでいく力。
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取る力。
- 基礎的な表現の技術を伸ばし、創意工夫して表現する能力。
- 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力。

## 2 学校での学習の進め方の例

### 【歌唱・器楽の授業について】

- ①授業担当者の説明を聞いて課題を知る。
- ②個人やグループでの活動を開始する。  
どうやったら上達することができるのか？  
課題を解決するためにはどうすれば良いか？  
工夫することが大切。
- ③発表。全体・個人などで行う。  
発表の日を別に設ける場合もある。

### 【鑑賞の授業について】

- ①授業担当者の説明を聞いてテーマと課題を知る。
- ②鑑賞によりテーマ・課題についての確認。  
時にはグループ討議なども行う。  
たくさん発言しよう。

※鑑賞と実技の授業を合わせて行うこともあります。

## 3 ノート・ワークシートのまとめ方の例

### • 「Music Note」

授業中の黒板の内容などをきちんと書き写してください。また、聴音なども授業で行ったものは、正解が分かるように書いておいた方が良いです。3年間使うノートです。

### • 「コーラスフェスティバル」や配布された楽譜

楽譜には書き込みをたくさんしてください。なぜそこにフォルテをつけたいのか？なぜそこにデクレシェンドをつけたいのか？・・・など、想いや意図が分かるように記入されているとすばらしい。

### • 音楽新聞

学期に1枚、音楽新聞を書きます。調べる課題はその都度連絡します。1年生の最初の音楽新聞配布の時に、書き方について詳しく説明します。説明の用紙も配りますので、よく聞きよく読んで間違いのないように作品を仕上げてください。

## 4 家庭学習の進め方の例

普段は、音楽の教科書や用具は学校に置いておいてください。

期末テスト前に勉強する人やリコーダー等の練習をしたい人は持ち帰っても良いです。

## 5 「音楽科」成績の付け方の例

資質・能力	評価の主な資料
知識・技能 ・音楽についての知識・理解がある。基礎的な技能を身に付け、表現豊かに演奏できる。	知識 ・期末テスト・音楽新聞  技能 ・技能テスト・授業中の技能の様子
思考・判断・表現 ・音楽の良さや美しさを感じ取り、表現を工夫することができる。	・パート練習での発言の内容（思考） ・姿勢（判断・表現・思考） ・楽譜への書き込み内容（思考・判断） ・技能テスト（表現）
主体的に学習に取り組む態度 ・音楽に興味・関心を持ち、積極的に授業に取り組むことができる。	・授業の取組の様子 ・提出物 ・楽譜への書き込み